

2020年3月期 第3四半期 連結業績説明会



Internet Initiative Japan

株式会社インターネットイニシアティブ
証券コード: 3774
2020年2月7日

当社は2019年3月期有価証券報告書提出時(2019年6月28日提出)より会計基準を従来の米国会計基準から国際財務報告基準(IFRS)へ変更しております。

IFRSによる連結財務諸表における海外子会社の財務数値の報告期間は従来採用していた米国会計基準における期間と異なる等で、前年度以前の数値は、過去の開示と一部異なっております。

- I . 2020年3月期 第3四半期 総括**
- II . 2020年3月期 第3四半期 連結業績**
- III . その他参考情報**

I. 2020年3月期 第3四半期 決算総括

単位: 億円
% = 前年同期比

IoT・セキュリティ・クラウド等 法人ストック継続増収 +10.0%^{(*)1}
想定上回り増益推移・過去最高益更新中^{(*)2} (除くWAN)

3Q19累計	売上収益	1,506.9 億円	+7.9%	3Q19	売上収益	514.7 億円	+6.3%
	営業利益	60.6 億円	+51.4%				
					営業利益	27.1 億円	+58.9%

◆ 法人モバイルサービス 25.1%増収^{(*)4}

- ・ フルMVNO売上 11.2億円 計画通り伸長
- ・ 配車・ドラレコ・見守り等 IoT案件順次積み上げ
法人回線数 71.1万(+21.5%)

◆ セキュリティサービス 17.4%増収

- ・ SOC・エンドポイントとサービス領域拡張
MDR(Managed Detection & Response)へと進化
- ・ セキュリティGW・DDoS防御他でクロスセリング強み

◆ クラウドサービス 16.2%増収

- ・ 企業システムはコンスタントにクラウド化
- ・ マルチクラウド/クラウド間閉域接続等で強み
- ・ 今後 白井(東日本)・松江(西日本)DCに基盤順次集約

◆ SI 需要旺盛継続

- ・ システム構築: 売上 +25.5%・受注 +7.8%
- ・ NW構築・セキュリティ/クラウドSI・ネットBtoCシステム・
リモートワーク環境等で幅広い業種から案件受注

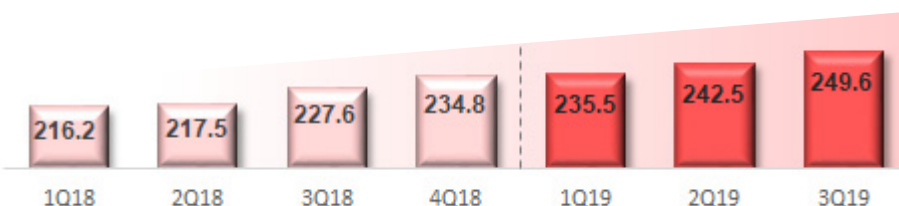
◆ ローカル5G需要に商機

- ・ NW・システム構築・運営へ 技術供与・アウトソーシング
- ・ 住友商事・CATV各社とJV「グレープ・ワン」設立
CATV他にローカル5G基幹機能提供

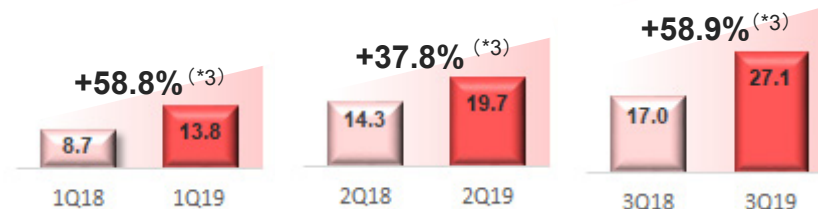
◆ 配信事業/JOCDN 体制強化

- ・ 民放各局に加えNHK参画・1億円出資(20年1月)

法人ストック積上げで売上基盤拡大^{(*)1}



NW・SI粗利拡大で構造的に営業利益伸長



(*)1 法人ストック売上: 法人インターネット接続(MVNE除く)、アウトソーシング、SI運用保守の合計額。個別変動要因のあったWAN売上は含めておりません。

(*)2 3Q19累計及び3Q19各々の営業利益、税引前利益、四半期利益及び親会社の所有者に帰属する四半期利益を指します。2019年3月期については、下記(*)3記載の利益と比較しております。

(*)3 ドコモ モバイル接続料単価改定に伴うNWサービス原価一括追加計上(4Q18 20.5億円)を本来の帰属期間に配分した前年同期比実績での増益率を記載しております。

(*)4 法人モバイル売上: IIJモバイルからMVNE分を除外し算出しております。

II - 1. 2020年3月期 第3四半期 連結業績サマリー

単位: 億円

	売上高比 3Q19累計 19年4月～19年12月	補正売上高比 [売上高比] 3Q18累計補正 ^(*) [3Q18累計] 18年4月～18年12月	3Q18累計補正比 [3Q18累計比]	売上高比 FY19見通し 19年4月～20年3月	前期比
売上収益	1,506.9	1,396.3	+7.9%	2,040	+6.0%
売上原価	1,269.9 <small>84.3%</small>	1,189.9 <small>85.2%</small> [84.1%]	+6.7% <small>[+8.1%]</small>	1,720 <small>84.3%</small>	+5.2%
売上総利益	236.9 <small>15.7%</small>	206.4 <small>14.8%</small> [15.9%]	+14.8% <small>[+7.0%]</small>	320 <small>15.7%</small>	+10.4%
販売管理費等 ^{(*)2}	176.3 <small>11.7%</small>	166.3 <small>11.9%</small>	+6.0%	244 <small>12.0%</small>	+6.3%
営業利益	60.6 <small>4.0%</small>	40.0 <small>2.9%</small> [3.9%]	+51.4% <small>[+10.0%]</small>	76 <small>3.7%</small>	+26.2%
税引前利益	56.1 <small>3.7%</small>	40.6 <small>2.9%</small> [4.0%]	+38.2% <small>[+0.8%]</small>	68 <small>3.3%</small>	+16.4%
当期利益 ^{(*)3}	33.5 <small>2.2%</small>	24.4 <small>1.7%</small> [2.5%]	+37.6% <small>[Δ3.3%]</small>	38 <small>1.9%</small>	+7.9%

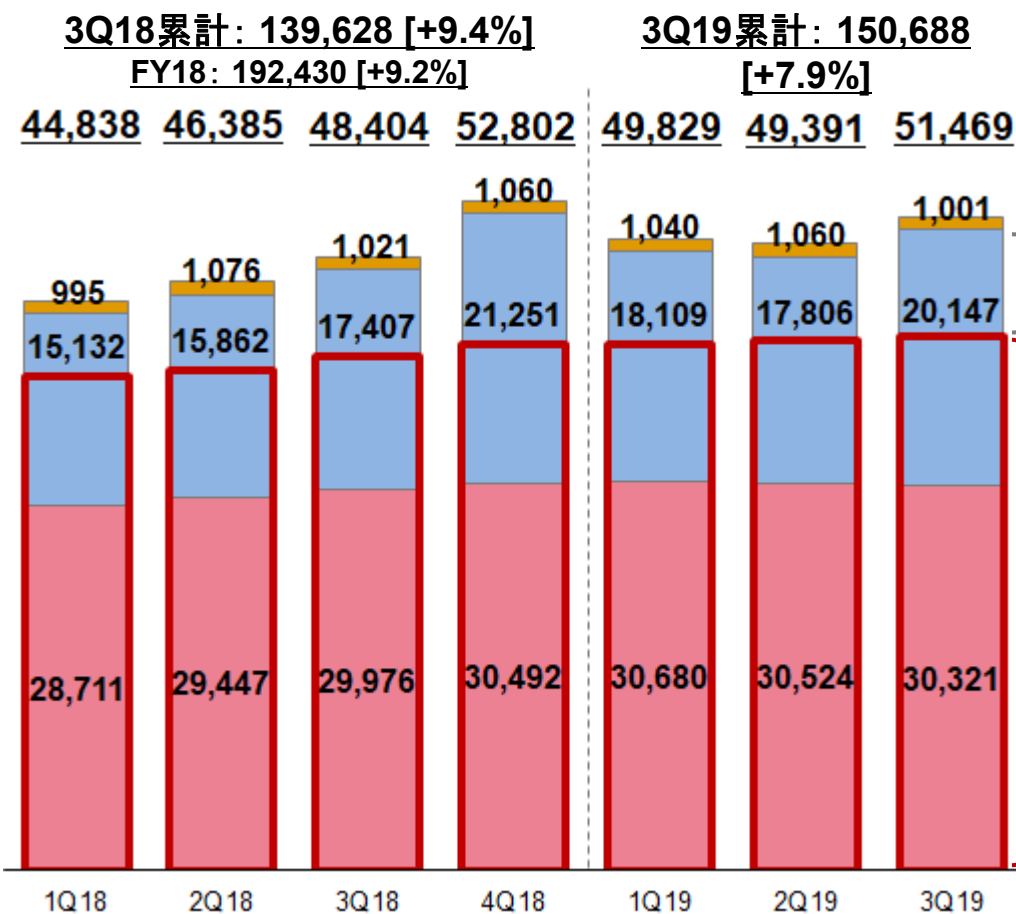
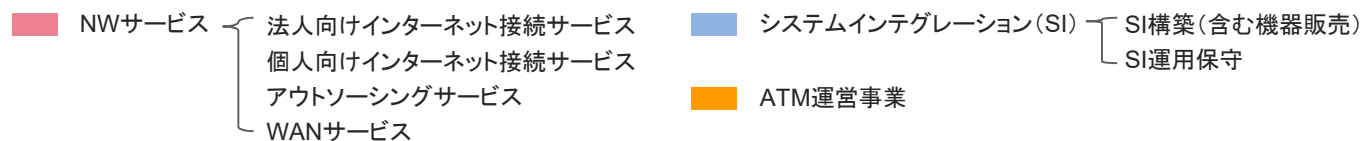
(*)1 補正実績は、NTTドコモ モバイル接続料単価改定(2019年3月末)に伴うNWサービス原価一括追加計上(4Q18 20.5億円)を本来の帰属期間に配分して算出しております。
詳細については、本プレゼンテーション資料 5頁をご参照ください。

(*)2 販売管理費等は、販売費及び一般管理費(研究開発費を含む)、その他収益、その他費用の合計額を記載しております。

(*)3 当期利益は、親会社所有者に帰属する当期利益及び四半期利益を指しております。

II - 2. 売上収益(売上高)の推移

単位: 百万円
 [], YoY = 前年同期比
 QoQ = 前四半期比



一時売上
 3Q19累計: 22,081百万円 (+25.5%YoY)
 (3Q19累計売上構成比: 14.7%)

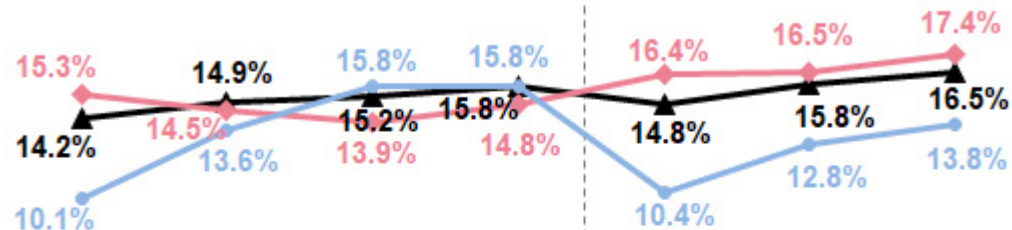
ストック売上
 3Q19累計: 125,506百万円 (+5.5%YoY)
 (3Q19累計売上構成比: 83.3%)
 > 3Q19NWサービス売上 Δ0.7%QoQ
 ・ 既存大口WAN顧客移行影響で3Q19
 WAN売上 Δ4.7億円・Δ6.7%QoQ

- 3Q18累計(IFRS)の前年同期比増減率は、3Q17累計(US会計基準)との増減率を表示しております。
- 一時売上とは、主としてシステムが完成し引き渡すタイミングである検収時に一括計上される売上であり、SI構築売上(含む機器販売)を表示しております。
- ストック売上とは、継続提供にて月次計上される恒常的売上であり、法人・個人向けインターネット接続サービス、アウトソーシングサービス、WANサービス、SI運用保守の合計額を表示しております。

II - 3. 売上原価・売上総利益率の推移

単位: 百万円
[], YoY = 前年同期比
QoQ = 前四半期比

売上原価 ■ NWサービス ■ システムインテグレーション(SI) ■ ATM運営事業
売上総利益率 ◆ NWサービス ● システムインテグレーション(SI) ▲ 全体



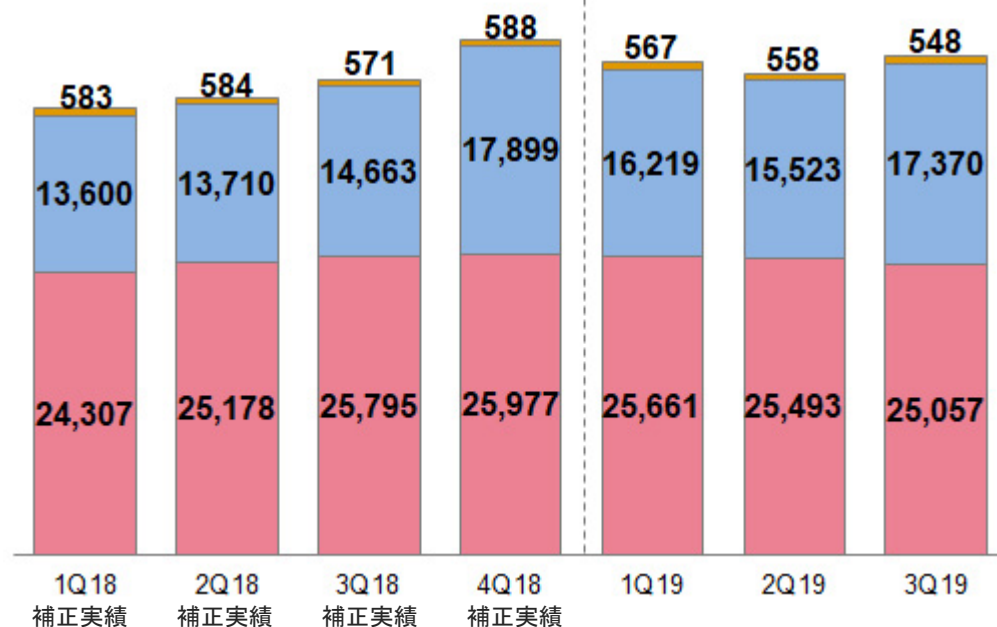
3Q18累計: 118,991 [+10.3%]

FY18: 163,455 [+10.5%]

3Q19累計: 126,994

[+8.1%]

38,490 39,472 41,029 44,464 42,447 41,573 42,974



- 3Q18累計(IFRS)の前年同期比増減率は、3Q17累計(US会計基準)との増減率を表示しております。
- 補正実績は、NTTドコモ モバイル接続料単価改定(2019年3月末)に伴うNWサービス原価一括追加計上(4Q18 20.5億円)を本来の帰属期間に配分して算出しております。本頁以降FY18実績は全て補正実績で表示しております。
- SIIには機器販売を含んでおります。

売上総利益

◆ 売上総利益QoQ継続改善

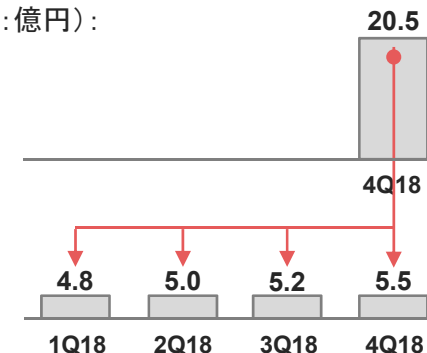
- NW: 全体増収に伴い粗利継続増加、フルMVNO 売上増で増加固定原価吸収
- SI: 稼働管理強化等でSE高稼働率維持・不採算案件生じず

◆ 全体

- 3Q19累計: 23,694百万円 (3Q18累計補正実績比 +14.8%YoY)

◆ NWサービス

- 3Q19累計: 15,314百万円 (3Q18累計補正実績比 +19.1%YoY)
- NTTドコモ モバイル接続料(帯域単価)改定に伴う一括追加原価計上(4Q18 20.5億円)の本来の帰属期間への配分は以下の通り(単位: 億円):



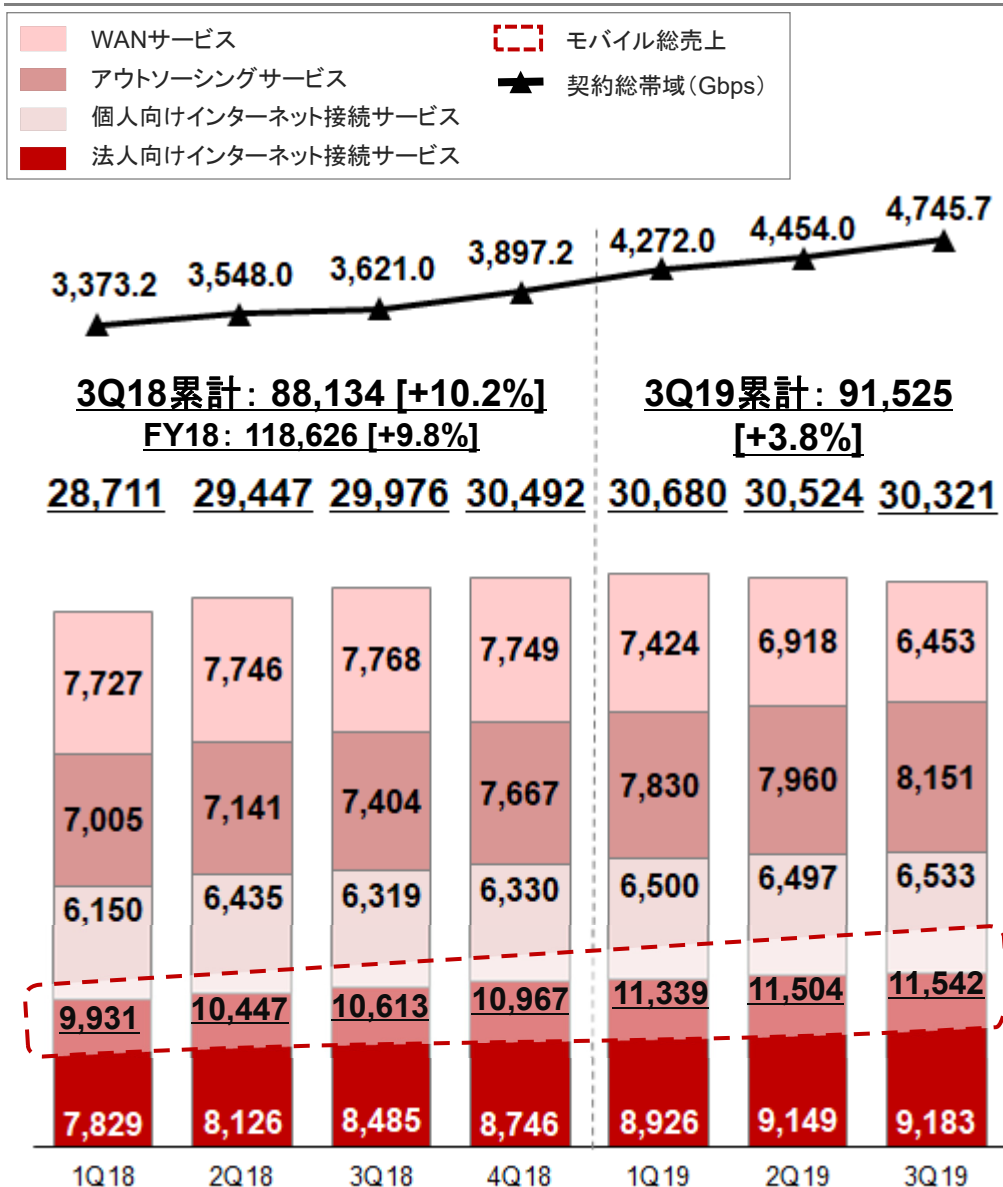
- フルMVNO関連固定費追加 3億円強/Q(18年3月~)内包

◆ SI

- 3Q19累計: 6,951百万円(+8.1%YoY)

II-4. ネットワークサービス ①売上高の推移

単位: 百万円
[], YoY = 前年同期比



◆ 法人向けインターネット接続サービス

- 3Q19累計: +11.5%YoY
- 3Q19: +8.2%YoY
- 法人モバイル売上継続伸長
 - 3Q19累計 IIJモバイル売上: +18.8%YoY
 - ✓ うち、IoT等MVNE以外法人売上: +25.1%YoY
 - ✓ うち、MVNE売上: +16.7%YoY
 - ✓ 3Q19末MVNE顧客数: 155社(+9社YoY)

◆ 個人向けインターネット接続サービス

- 3Q19累計: +3.3%YoY
- 3Q19: +3.4%YoY

◆ アウトソーシングサービス

- 3Q19累計: +11.1%YoY
- 3Q19: +10.1%YoY
- セキュリティの需要旺盛
 - 3Q19累計 セキュリティ売上: +17.4%YoY

◆ WANサービス

- 3Q19累計: Δ 10.5%YoY
- 3Q19: Δ 16.9%YoY
 - FY19は既存特定大口顧客の多拠点モバイルWAN移行等でWAN売上40億円規模YoY減収の見込み。計画より若干遅れてWANからモバイルへ移行し、3Qでほぼ移行完了
 - ✓ 3Q19累計 既存大口顧客YoY 約 Δ 31億円

- 3Q18累計(IFRS)の前年同期比増減率は、3Q17累計(US会計基準)との増減率を表示しております。
- 契約総帯域は、法人向けインターネット接続サービスのうち、IPサービス(インターネットデータセンター接続サービス含む)及びブロードバンド対応型サービス各々の契約数と契約帯域の乗算で算出しております。

II-4. ネットワークサービス ②原価の推移

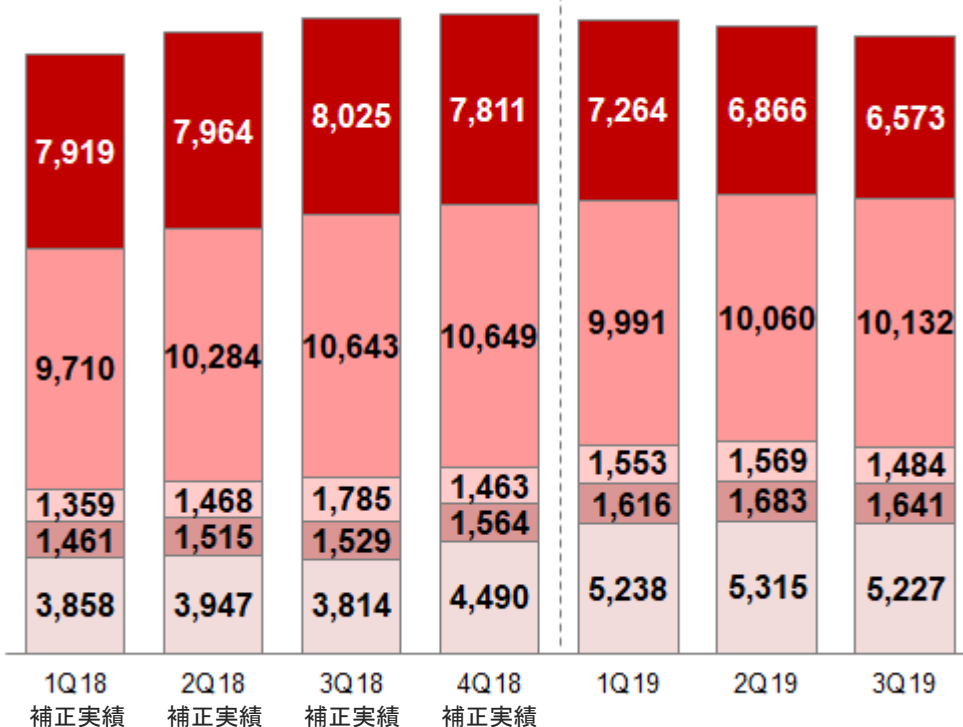
単位: 百万円
[], YoY = 前年同期比



3Q18累計: 75,280 [+13.9%]
FY18: 101,257 [+14.3%]

3Q19累計: 76,211
[+1.2%]

24,307 25,178 25,795 25,977 25,661 25,493 25,057



- WAN売上減少に伴い、回線関連費用減少
- 1Q19からのオペリース資産・負債のBS計上との会計改訂に伴い、データセンター賃借費(外注関連)から償却費(設備関連)等への費用計上区分の変更有り

ドコモMVNOに係るモバイル接続料取り扱い

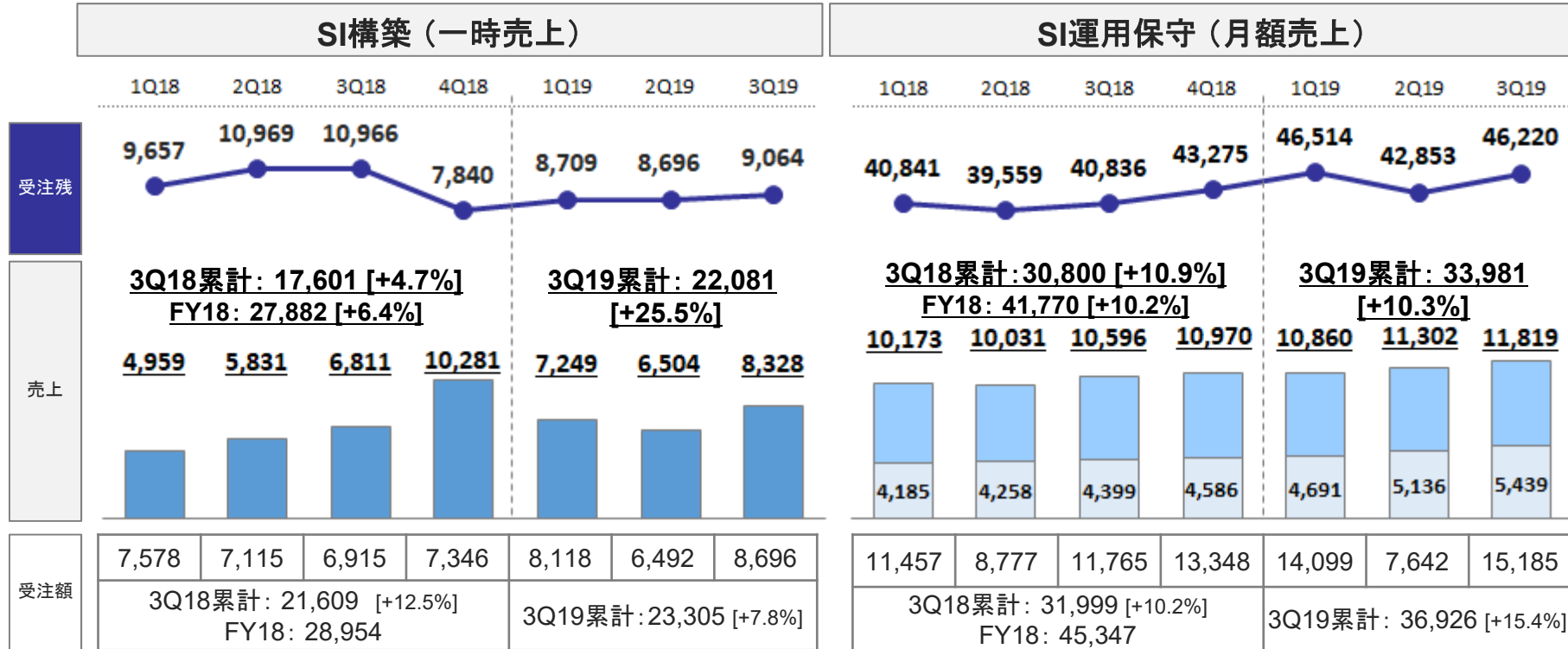
(MNOの提供するモバイルインフラコスト)

- FY18・FY17分モバイル接続料(帯域単価)は19年3月に前年単価比5.0%減と改定
FY18時は想定14%減と実績5.0%減との差分20.5億円の追加費用を4Q18に一括計上
- FY17・FY16分モバイル接続料(帯域単価)は18年3月に前年単価比18.2%減と改定
FY17時は想定14%減と実績18.2%減との差分8.9億円の費用戻しを4Q17に一括計上
- FY19・FY18分モバイル接続料は20年3月頃に改定見込み。先んじてFY19モバイル接続料は19年4月より前年単価比5%減でドコモより仮請求との運用
- FY19期中のモバイル接続料は19年3月改定実績・FY18ドコモ費用推移等を鑑み、約8%の低減率を想定し四半期費用処理
- 「MVNOに係る電気通信事業法(略)」のガイドライン改正(2020年1月発表)に伴い、2020年4月からの将来原価方式適用が正式決定

- 3Q18累計(IFRS)の前年同期比増減率は、3Q17累計(US会計基準)との増減率を表示しております。
- 外注関連費には、モバイル接続料等に係るモバイル関連費用、サポートセンター運営費用等を含んでおります。

II - 5. システムインテグレーション ①売上高の推移

単位: 百万円
[], YoY = 前年同期比



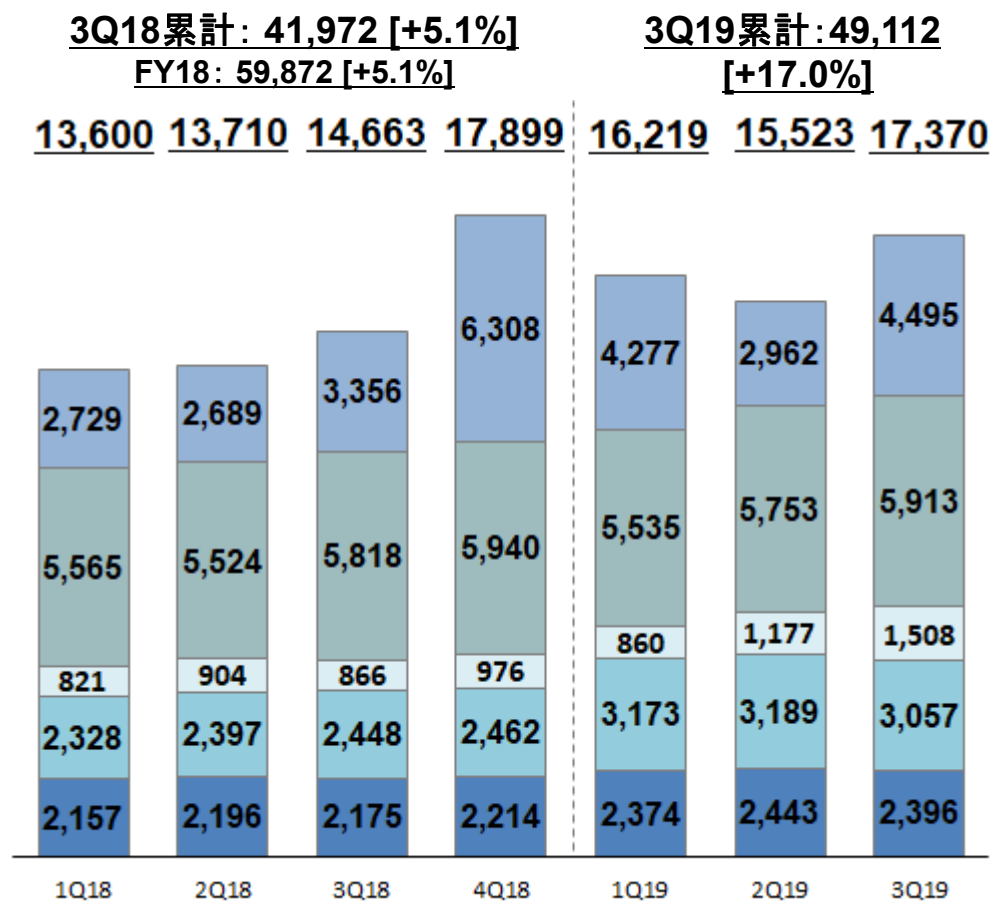
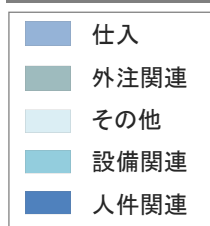
- 3Q19累計売上に進行基準による17.6億円の売上含む
- 3Q19受注残高は3Q19累計進行基準の売上計上分目減り (FY18は進行基準売上なし)
- 受注環境良好で幅広い業種から需要積み上げ
 - ・ BtoC/BtoB向けインターネット関連システム
 - ・ セキュリティ関連SI
 - ・ オフィス環境関連SIソリューション (Office365導入等)
 - ・ ネットワーク増強/サーバ入れ替え
 - ・ クラウドシステム付帯SI
 - ・ コーポレートサイト更改 等

- システム構築からの運用案件積み上げ及びプライベートクラウド売上継続伸長
 - ・ 3Q19累計 SI運用保守売上のうちプライベートクラウド売上: +18.9%YoY
 - ・ 3Q19累計 SI運用保守売上のうちシステム構築からの運用案件売上: +4.2%YoY
- 3Q19クラウド売上計上区分:
 - ・ SI運用保守 89% アウトソーシング11%

- ・ SI構築の受注残、売上、受注額には、機器販売を含みます。
- ・ SI運用保守売上グラフの内数は、クラウド売上を指しております。
- ・ 3Q18累計(IFRS)の前年同期比増減率は、3Q17累計(US会計基準)との増減率を表示しております。

Ⅱ-5. システムインテグレーション ②原価の推移

単位: 百万円
 [], YoY = 前年同期比
 QoQ = 前四半期比

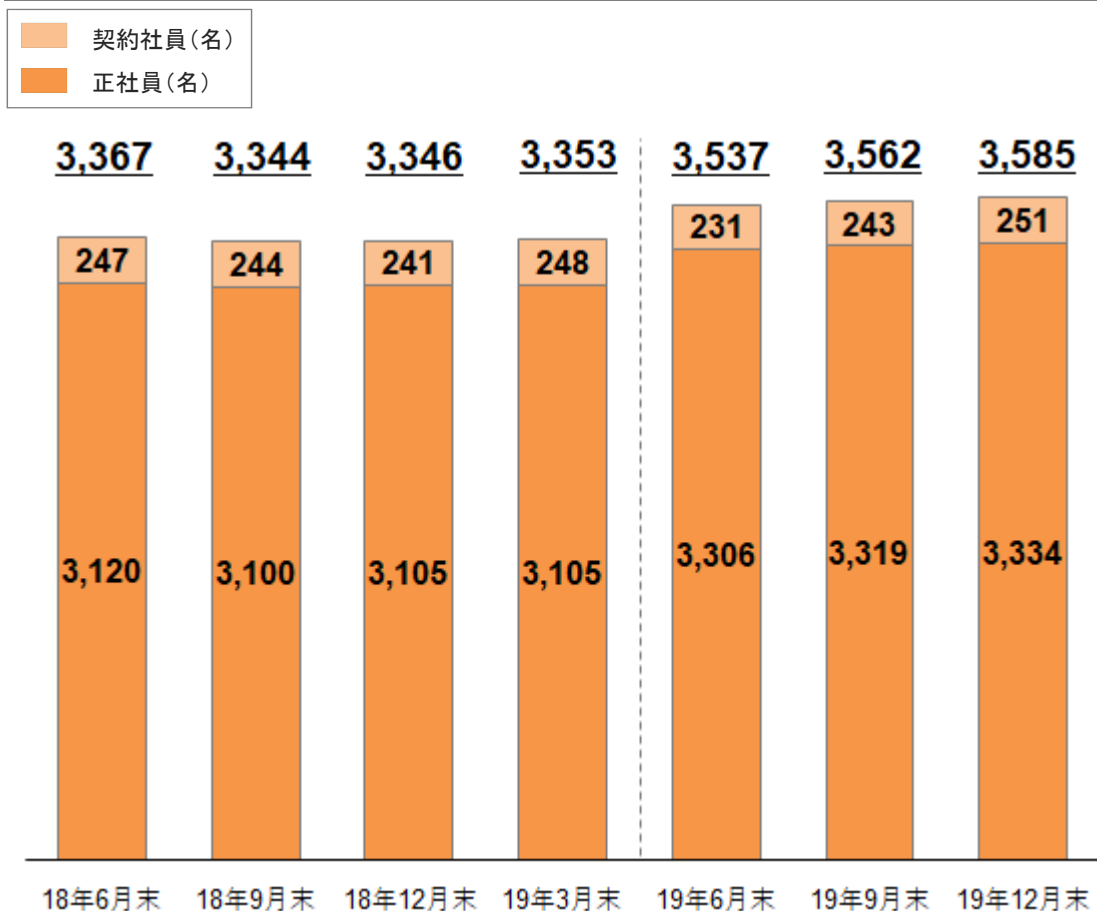


- 3Q19末SI関連外注人員数: 1,065名
(△43名YoY、△39名QoQ)
- 大口法人IoT案件(タクシー配車)向けタブレット端末等で仕入れ増加
- 1Q19からのオペリース資産・負債のBS計上との会計改訂に伴い、SI運用費(外注関連)から償却費(設備関連)等への費用計上区分の変更有り

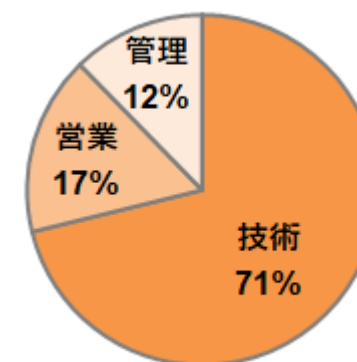
・ 3Q18累計(IFRS)の前年同期比増減率は、3Q17累計(US会計基準)との増減率を表示しております。
 ・ 外注関連費には、SIプロジェクトに係る外注人員費用等を含んでおります。

II - 6. 連結従業員数の推移

単位: 百万円
YoY = 前年同期比



分野別人員構成



- 19年4月入社新卒社員数: 171名 (18年4月: 175名、17年4月: 148名)
- 20年4月入社予定新卒社員数: 207名
- FY19従業員純増予算230名規模
- 報酬体系改定等でFY19人件関連費増は従前より大きい見込み

人件関連費用

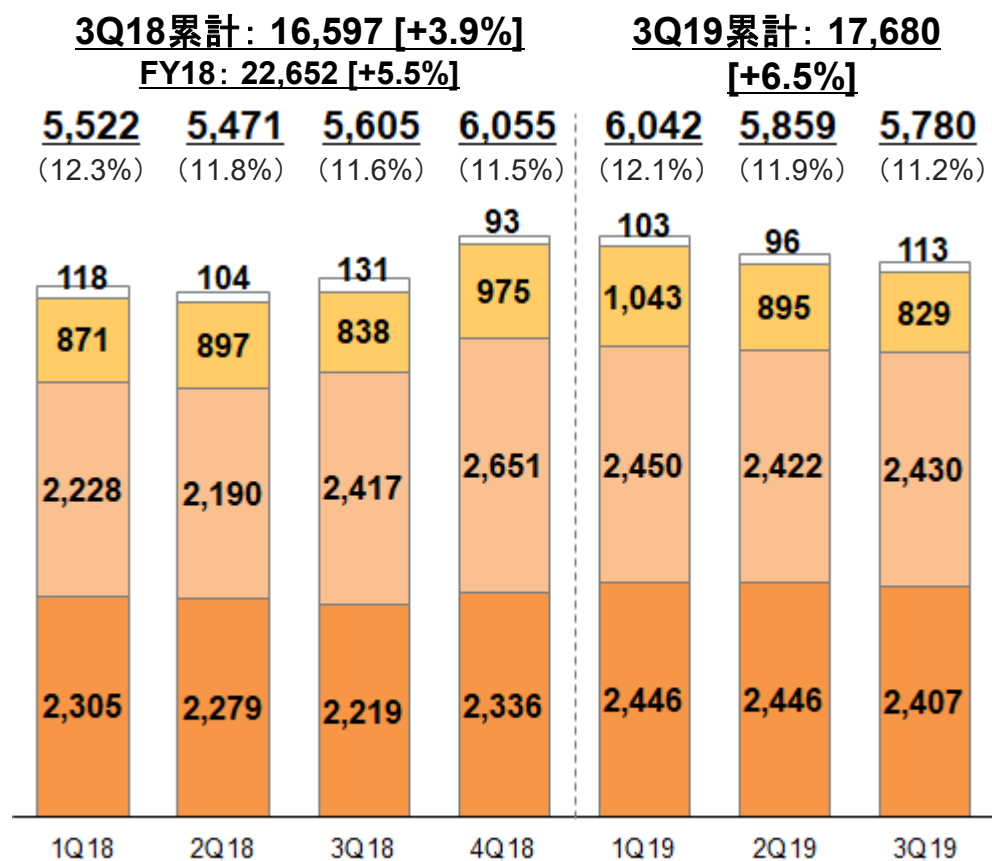
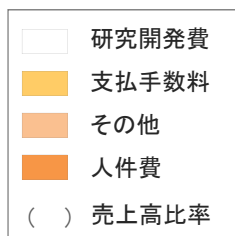
単位: 百万円、() = 売上高比率

1Q18	2Q18	3Q18	4Q18	1Q19	2Q19	3Q19
5,920 (13.2%)	6,003 (12.9%)	5,920 (12.2%)	6,100 (11.6%)	6,402 (12.8%)	6,573 (13.3%)	6,443 (12.5%)
3Q18累計: 17,842 (12.8%) +2.8%YoY FY18: 23,942 (12.4%)				3Q19累計: 19,418 (12.9%) +8.8%YoY		

- 3Q18累計(IFRS)の前年同期比増減率は、3Q17累計(US会計基準)との増減率を表示しております。

II - 7. 販売管理費等の推移

単位: 百万円
[], YoY = 前年同期比



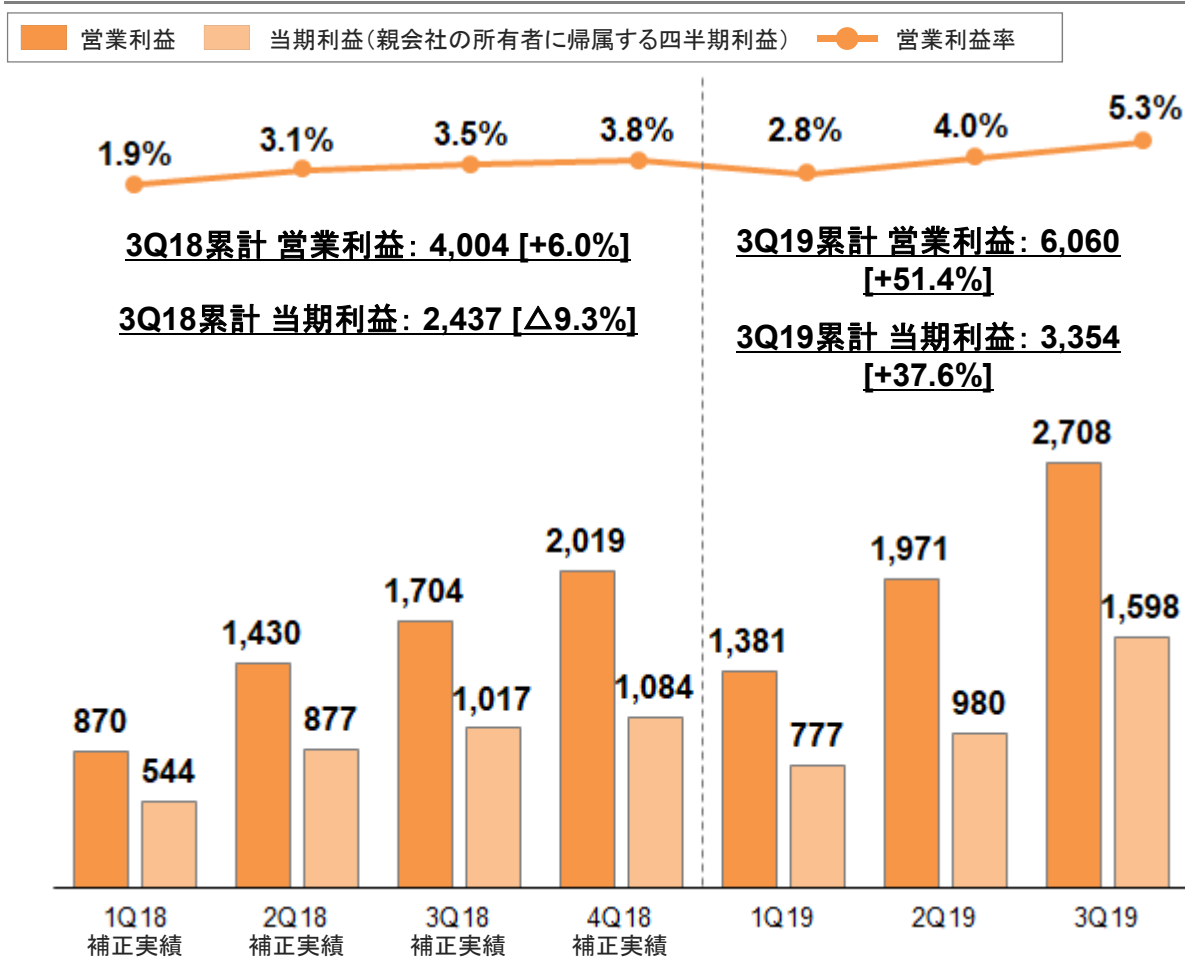
➤ 計画内で推移

- 3Q19累計 人件費 +7.3%YoY
- 3Q19累計 その他 +6.8%YoY
- ✓ 広告宣伝費等増加

- 本スライドでの販売管理費等は、販売費及び一般管理費(研究開発費を含む)の合計額を記載しております。
- 3Q18累計(IFRS)の前年同期比増減率は、3Q17累計(US会計基準)との増減率を表示しております。

II - 8. 利益の推移

単位: 百万円



◆ 税引前四半期利益

- 3Q19累計: 5,610百万円
(3Q18累計補正実績比 +38.2%)
- ・受取配当金: 75百万円
- ・受取利息: 40百万円
- ・支払利息: 432百万円
- ・DeCurret持分法投資損失: 602百万円

◆ 親会社の所有者に帰属する四半期利益

- ・非支配持分利益: 148百万円

103	65	△46	16	△124	△51	92	金融損益(純額)
△30	6	△43	△252	112	△245	△234	持分法投資損益
△359	△580	△553	△653	△543	△642	△922	法人所得税費用(補正実績)
△40	△45	△45	△47	△49	△53	△46	控除- 非支配持分に帰属する四半期利益

・ 3Q18累計(IFRS)の前年同期比増減率は、3Q17累計(US会計基準)との増減率を表示しております。

II - 9. 連結バランスシートのサマリー

単位: 百万円

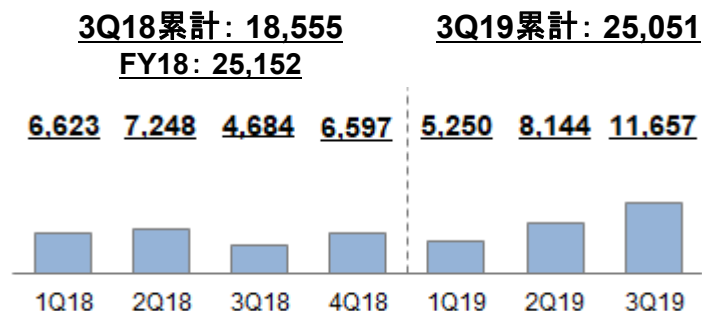
	19年3月末	19年12月末	増減	
現金及び現金同等物	31,958	36,351	+4,393	「使用権資産」内訳 (19年12月末) オペレーティング・リース (事務所賃借契約等) 31,183百万円 ファイナンス・リース (19年3月末有形固定資産・ 無形資産からの振り替え等) 16,188百万円
営業債権	33,376	32,350	△1,025	
棚卸資産	3,403	2,226	△1,177	
前払費用(流動・非流動)	16,560	18,357	+1,797	
有形固定資産	33,136	18,241	△14,895	
使用権資産	-	47,370	+47,370	
のれん・無形資産	24,901	23,941	△961	
持分法で会計処理されている投資	4,838	5,106	+268	
その他の投資	11,402	12,060	+658	
その他	7,715	8,932	+1,217	
資産合計:	<u>167,289</u>	<u>204,934</u>	<u>+37,645</u>	
営業債務及びその他の債務	21,962	19,689	△2,273	
借入金(流動・非流動)	26,750	27,750	+1,000	
繰延収益(流動・非流動)	10,980	11,788	+808	
未払法人所得税	1,139	1,397	+258	
退職給付に係る負債	3,489	3,697	+208	
その他の金融負債(流動・非流動)	19,183	51,825	+32,642	
その他	6,666	7,356	+690	
負債合計:	<u>90,170</u>	<u>123,503</u>	<u>+33,333</u>	
資本金	25,519	25,531	+12	親会社所有者帰属持分 19年3月末 45.6% 19年12月末 39.3%
資本剰余金	36,226	36,257	+31	
利益剰余金	12,335	15,982	+3,647	
その他の資本の構成要素	4,089	4,615	+526	
自己株式	△1,897	△1,897	-	
親会社所有者帰属持分合計:	<u>76,271</u>	<u>80,488</u>	<u>+4,217</u>	

・ IFRS第16号の適用により、特定の条件を満たすオペレーティング・リースがバランスシートに計上されるようになりました。

Ⅱ-10. 連結キャッシュ・フロー

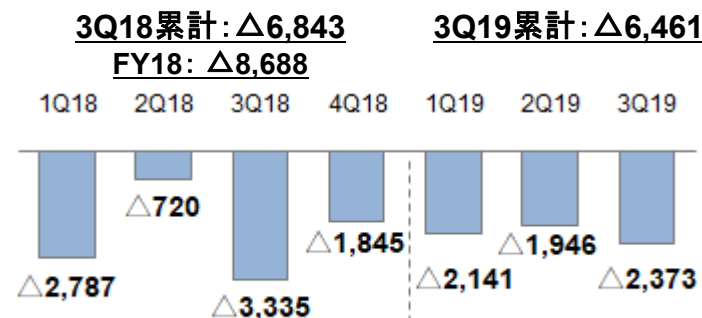
単位:百万円

営業キャッシュ・フロー



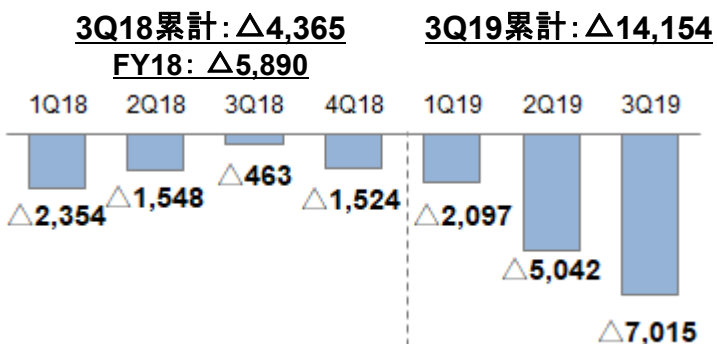
	主内訳	前年同期比
税引前四半期利益	5,610	+45
減価償却費及び償却費	21,356	+10,078
(うち、オペレーティング・リースの使用権資産)	9,179	+9,179
営業資産及び負債の増減	314	△4,555
法人所得税支払い	△2,603	+759

投資キャッシュ・フロー



	主内訳	前年同期比
有形固定資産の取得	△6,222	△865
無形資産(ソフトウェア等)の取得	△4,017	+384
その他投資の売却による収入	2,750	+2,373

財務キャッシュ・フロー

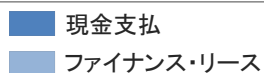


	主内訳	前年同期比
その他の金融負債の支払	△15,356	△10,000
(うち、オペレーティング・リース債務)	△9,144	△9,144
(うち、ファイナンス・リース債務)	△5,443	△658
長期借入金の返済	△1,500	△1,500
短期借入金の純増減額	2,500	+500

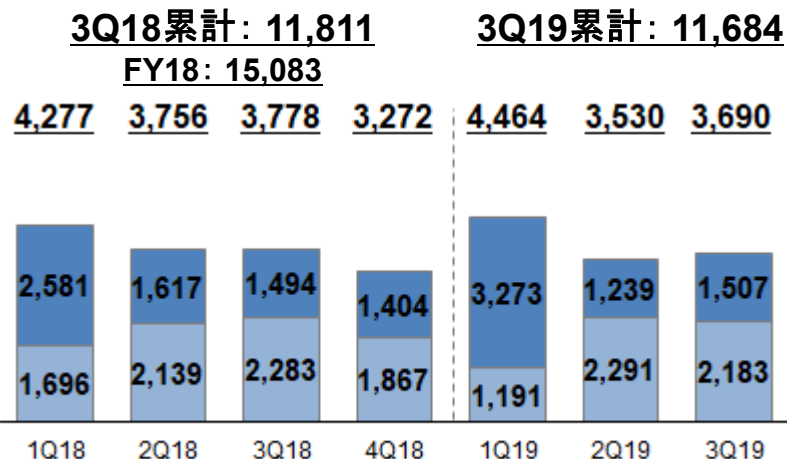
II - 11. その他の財務データ

単位: 百万円

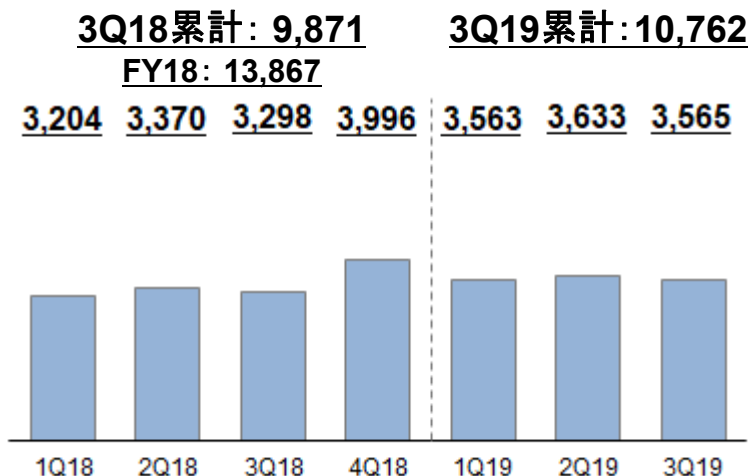
設備投資額(CAPEX)



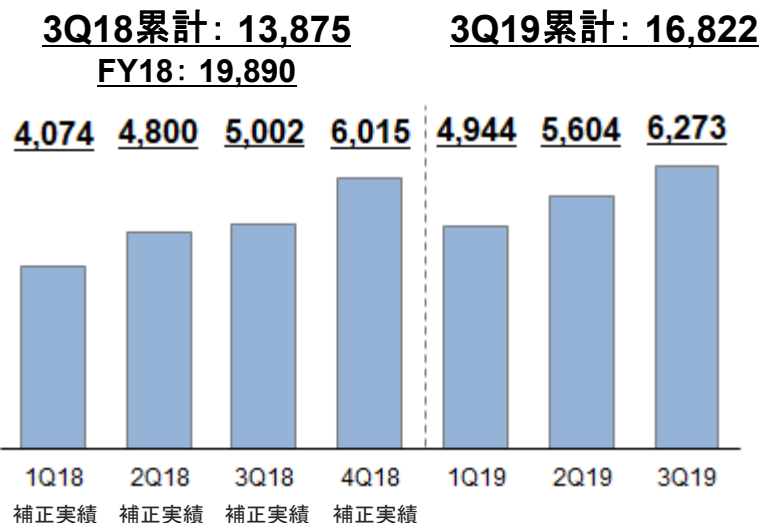
➢ FY19CAPEXは総額180億円台を想定



設備投資償却額



Adjusted EBITDA



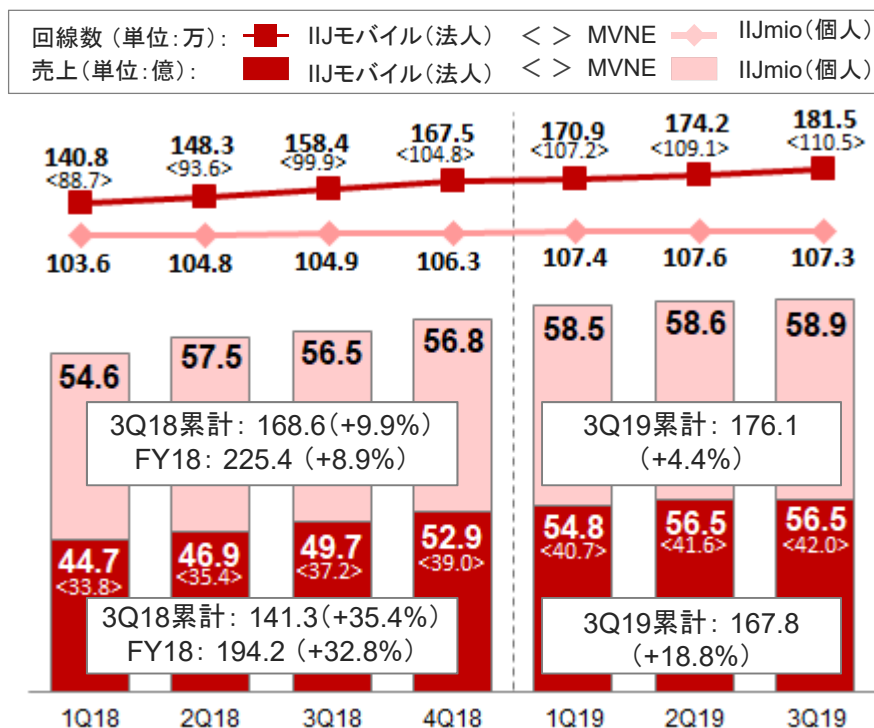
- ・ 設備投資額は、有形固定資産及び無形固定資産の現金支出による取得額及びファイナンス・リースによる取得額より、セール・アンド・リースバック取引による重複、少額端末等で投資との性質を持たない資産の取得額を除外して算定しております。
- ・ 設備投資償却額は、減価償却費及び償却費のうち、設備投資(CAPEX)による資産の償却額を表しており、設備投資との性質をもたない資産(オペレーティングリースの使用権資産、少額端末、顧客関係等)の償却額を除外して算定しております。
- ・ Adjusted EBITDAは、補正営業利益と設備投資償却額の合計額を記載しております。

Ⅲ-1. モバイル・IoTの事業進展

単位: 億円
% = 前年同期比

◆ モバイル総売上・総回線数 継続増加

- 3Q19累計総売上: 343.8億円(+11.0%)
 - 法人モバイル売上は特定大口顧客の事業要因での減影響内包(19年3月時 約11万回線規模、3Q19累計期間でほぼ収束)
- 2019年12月末総回線数: 289.2万(+9.8%)
 - 個人競争競争のなかMVNE戦略で回線継続獲得
 - 4Q 春商戦期に向けキャンペーン等で販促強化



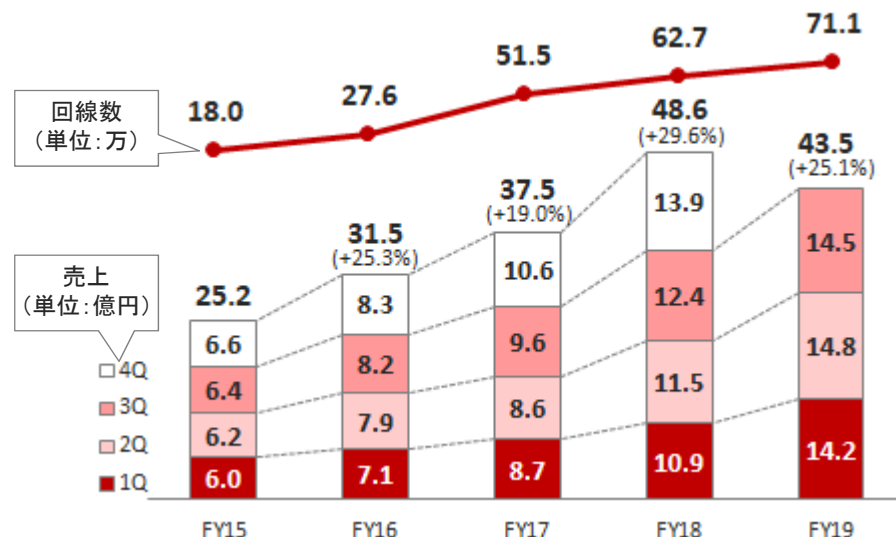
◆ ローカル5G関連需要旺盛

- モバイルシステムの運用ノウハウ・基盤システム等の技術提供案件増加
- 住友商事(株)他とのJV「グレープ・ワン」で、ケーブルテレビ事業者のローカル5Gサービスへの共通インフラ提供

・ FY19増収率は3Q累計比で表示しております。

◆ 法人モバイル売上・回線数 堅調推移

- 法人モバイル売上は法人向けインターネット接続サービスに計上
- 法人モバイル売上・回線数はIJモバイルからMVNE分を除外し算出
- 回線数は、年度末数値を記載(FY19分のみ2019年12月末を記載)



◆ 法人向け中心にフルMVNO継続売上積み上げ

- 3Q19累計フルMVNO売上 11.2億円
 - 防犯・監視・ドライブレコーダー等の多様なカメラ需要

◆ 豊富な法人モバイルソリューションの提供実績

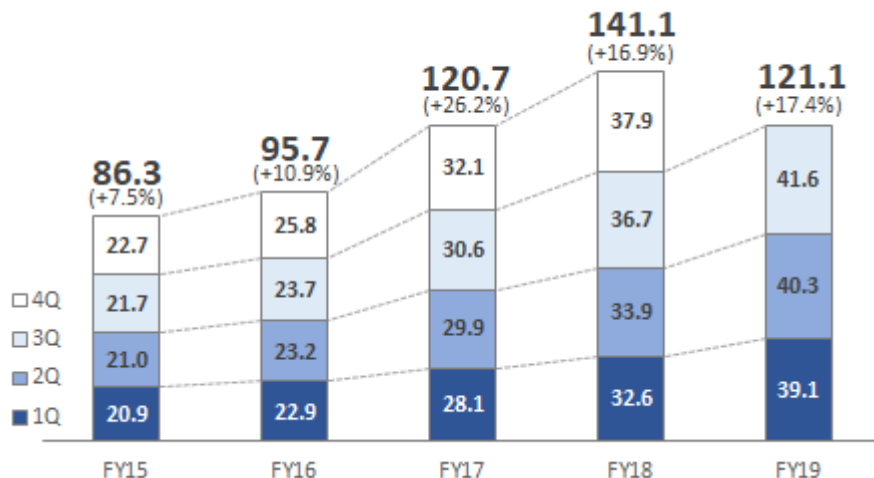
カメラ系	防犯、監視、店舗マーケティング等
交通系	ドライブレコーダー、タクシー配車等
BtoC系	カラオケ通信、児童見守り端末、決済端末等
オフィス系	リモートワーク・テレビ会議、PC内蔵SIM等
その他	工場設備管理、水田水管理、移動営業所、デジタルサイネージ、自動販売機等

Ⅲ-2. セキュリティとクラウドの事業状況

単位: 億円
% = 前年同期比

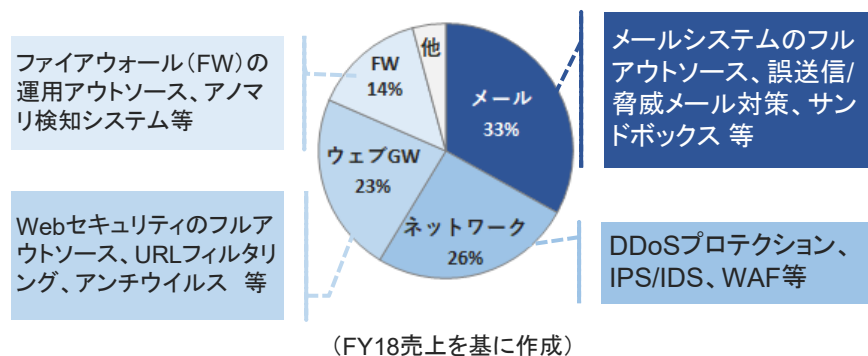
◆ セキュリティサービス(月額)売上推移

- 企業需要とサービス継続開発で高増収
- ・セキュリティサービス売上(月額)はアウトソーシングに計上



※上記サービス(月額)売上に加え、セキュリティ系SI売上はSI売上として計上
・総セキュリティ事業規模: FY17 146.2億円、FY18 167.7億円

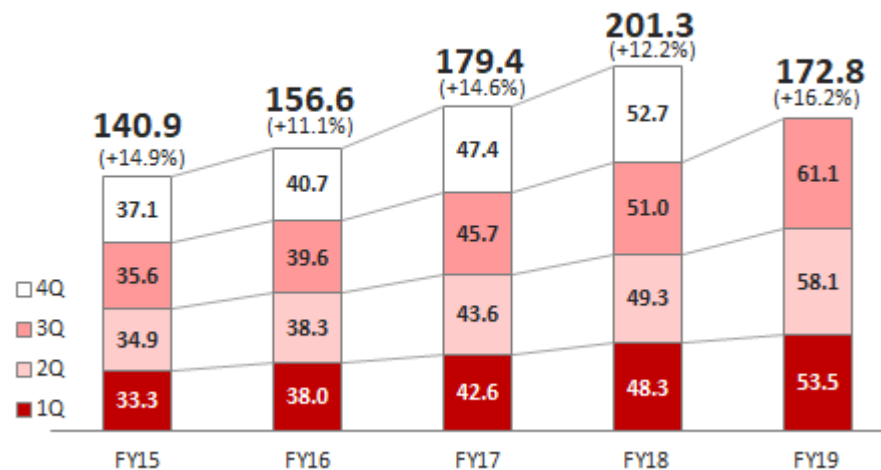
◆ セキュリティサービス売上の内訳



・ FY19増収率は3Q累計比で表示しております。

◆ クラウドサービス(月額)売上推移

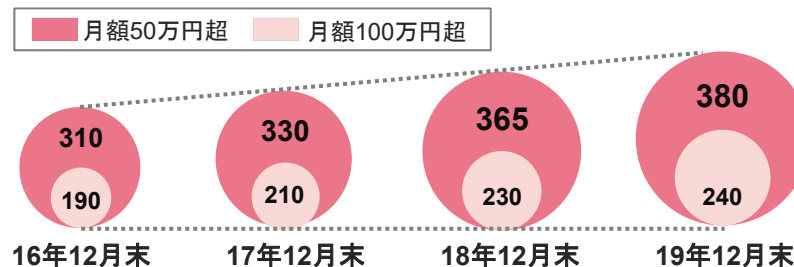
- 企業システム継続クラウド化・マルチクラウド等複合需要で増収
- ・3Q19クラウド売上計上区分: SI運用保守 89%、アウトソーシング 11%



- Microsoft Azure、AWS(アマゾン ウェブ サービス)、GCP(グーグル クラウド プラットフォーム)等への閉域接続需要旺盛。UOM(統合運用管理)サービス堅調推移
- 今後 白井(東日本)・松江(西日本)DCに基盤順次集約

◆ クラウドサービス顧客基盤

- 2019年12月末 クラウド顧客数 約1,730社
- 大口月額顧客数 継続増加



Ⅲ- 3. 2020年3月期 連結業績見通し(11月発表より変更なし)

単位:億円

	売上高比	売上高比	前期比	売上高比	3Q18累計 補正比
	FY19見通し 19年4月～20年3月	FY18実績 18年4月～19年3月		3Q19累積 19年4月～19年12月	
売上収益	2,040	1,924.3	+6.0%	1,506.9	+7.9%
売上原価	84.3% 1,720	84.9% 1,634.6	+5.2%	84.3% 1,269.9	+6.7%
売上総利益	15.7% 320	15.1% 289.7	+10.4%	15.7% 236.9	+14.8%
販売管理費等 ^(*)	12.0% 244	11.9% 229.5	+6.3%	11.7% 176.3	+6.0%
営業利益	3.7% 76	3.1% 60.2	+26.2%	4.0% 60.6	+51.4%
持分法投資損益	△5	△3.2	-	△3.7	-
税引前利益	3.3% 68	3.0% 58.4	+16.4%	3.7% 56.1	+38.2%
当期利益 ^(*)	1.9% 38	1.8% 35.2	+7.9%	2.2% 33.5	+37.6%

(*) 販売管理費等は、販売費及び一般管理費(研究開発費を含む)、その他収益、その他費用の合計額を記載

(*) 当期利益は、親会社所有者に帰属する当期利益及び四半期を表示



日本のインターネットは1992年、IIJとともにはじまりました。以来、IIJグループはネットワーク社会の基盤をつくり、技術力でその発展を支えてきました。インターネットの未来を想い、新たなイノベーションに挑戦し続けていく。それは、つねに先駆者としてインターネットの可能性を切り拓いてきたIIJの、これからも変わることのない姿勢です。IIJの真ん中のIはイニシアティブ

IIJはいつもはじまりであり、未来です。

事業等のリスク

本資料の記載のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当します。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社グループまたは当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しています。また、今後の当社グループまたは当社の事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は、将来実現しない可能性があります。